

第741回例会11月13日(火)AM7:30~8:30

- 会場：オークラアクトシティホテル浜松 3 階 チェルシーの間
- 司会：龍谷義行 市川正良
- 点鐘：鷲津有一
- 週報：小川善嗣
- ロータリーソング：「我等の生業」
- ゲスト：フットサルコート「ダニー」経営者 湊谷淳様

出席報告/スマイル報告

会員数 77 名 (内出席免除会員 2 名)
出席数 54 名 出席率 72.00%
前々回出席率 89.33%

- ① 原田道子さん 2 件
- ② 出席部会一同

会長挨拶

おはようございます。

卓話ゲストの湊谷淳さん、早朝よりお越し頂きありがとうございます。

前々回の例会では、熊谷紗奈さんが留学経験で得られたドイツ文化を

紹介して頂きました。私には留学経験はありませんが、あまり多くの方が経験することが多い大学体育会運動部の文化について、少しお話ししたいと思います。私が



所属していた部では厳格な服装規定がありました。通学時は、部活動の有無に関係なく学生服に革靴の義務付けられていました。高校時代、学生服にスニーカーだった私には慣れるまで苦痛を感じました。言葉使いにもルールがあり、先輩と話をする際に自らを指す言葉として使用できるのは、私や僕ではなく、「自分」のみであり、先輩から何か指示を受けた場合には「はい」のみが許される返答でした。ここからはロータリーと似ているかもしれません。キャンパス内で先輩を見かけたら、小走りに近づき、あいさつをするよう指導されました。遠くにおいて、わかりやしないと高をくくっていると、意外に先輩が気づいていたりするので、キャンパス内をふらふら歩くのは私にとって危険行為でした。時間の概念については、すべてにおいて15分前行動が基本となっています。しかも2回生から再度15分前の時間を集合時間とされますので、1回生はさらにその15分前、つまり本来の集合時間の30分前が自分たちの集合時間となっていました。

これらの約束事を破ると、当事者だけでなく連帯責任と言われ、学年

全員がその都度、特別訓練を受けたり、坊主刈り指令がでたりしました。

今では全く通用しない、40年前の昔話でした。

議 事

出席部会「フットサルで幸せになろう！」
(担当 クラブ管理運営委員会)

幹事報告



- ① 配布 ロータリーの友・ガバナー月信
- ② 職場訪問例会 写真・報告書・立替清算書 提出願ひ
- ③ 防潮堤松の植栽活動 11月18日(日)

委員会報告



- ① 職場訪問例会 各グループリーダー 最終例会に報告有ります。
(担当 職業奉仕部会 写真提出願ひます。)



- ② 防潮堤松の植栽活動 11月18日(日) AM10:00
清明寮・和光寮・R C 93名出席予定
(担当 財団プログラム部会)

「フットサルで幸せになろう！」

湊谷 淳様

おはようございます、本日はこのような場所を設けていただきまして、誠にありがとうございます。

先ほどご説明有りました通り、大建産業の武田さんは私の義理の兄でございます、今本当に経営が苦



しく経営部分に関して一から勉強させて頂いております。

私は浜松出身でございます、大瀬小学校・中郡中学校・浜名高校へ進みましたが、浜名高校ではサッカー部には所属しておりませんが、1年の終わりにヤマハ発動機サッカー部ジュビロの前身ジュビロユースに入りました。私自身、小学校や中学校の頃はかすずけの選手でございます、全くそういう選抜チームとかそういったものに入ることもなく、ただただサッカーが好きでやってまいりました。親からはサッカーを反対されて塾通いしておりましたが、親をだまして月謝をジュビロユースに払っていましたが、途中でして大変怒られました。

高校3年を終えJリーグの前身のチームに入り、ゴン中山選手ともプレーしましたが、怪我也有り3年後には戦力外通告を受けました。しかし、ユース時代の恩師から指導者の話がありコーチをしておりましたが、当時カリスマ社長から「お前はまだまだ若から指導ばかりではダメだ」とお話をされ、その後フロント業務に移り総務・経理・営業を経験し色々な方とお会いし、そんな中フットサルと出会い、魅力を感じ色々な人と繋がり、地域のコミュニティを作ることが自分で出来ないかと考え、30歳の時に独立しまして、DANNYを立ち上げましたが、経営的にも苦しく皆さんのお力をお借りしたいです。

地域に根ざしたコミュニティづくりを目指すべく、15年前の2014年日イトーヨーカドー屋上のテニスコートを間借りして初めたフットサル教室。その1年半後に飯田コートに移転、そして2011年有玉コートを新設。今年3月飯田コートの人工芝をリニューアルオープン。それを機に今までサッカー・フットサルに特化した運営のみを行ってききましたが、コートの有効活用のためサッカー・フットサル事業を中心に置きつつ人工芝のコートで行うことのできる様々なスポーツイベントを開催しております。

現在ダニーのコートでは主に企業種の一環としてそして友達同士

のグループで活動して下さるチーム会員の皆様や個人でフットサルを楽しみに来て下さる個人様ご利用いただいております。

「子供達とのかかわりの中で私たちも幸せになれる」、この様なプログラムがDANNYに有り名前は「NAKAMA」と名付けました。私が云うのも失礼ですが「子育ては子育て」とも言われます、子供を育てるという事は我儘な事ばかりならば、事が沢山あります、でもそれでも育てる事が出来るのは、苦勞以上の幸せが沢山有るからです。自分の子供だけではなく、地域の子供たちと関わることは面倒な事かもしれませんが、しかしきっと関わりを持った分以上の幸せの瞬間があると思います。そして、様々な難しい環境の中に居る子供達と接することは、私たちにもきっと様々な事を考えるきっかけになると思います。以前ジュビロに居た頃「和光寮」の子供たちにサッカーを教えていました。またDANNYのスタッフか和光寮のスタッフでもありボランティアでサッカー教室を10年位行って居ましたが、人員並びに金銭的にも困難になり、断念してしまいましたが再度スタッフから話があり開催したいと思い、継続的に色々なプログラムしました。内容は4本の柱を考えております。

- ① 児童養育施設及び軽度の障がい者入所施設のサッカー教室の開催
- ② U-8サッカー大会の開催 (小学1・2年生向け大会)
- ③ 知的障がい (軽度) の子供の受け入れ (準備中)
- ④ ブラインドサッカー体験会を啓発 (準備中)

コーチにチームスポーツについて、サッカーの技術的な事について教えてもらい、子供達の社会性を身につけサッカーも正しく上達しています。この様な素晴らしい時間を出来る限り多くの子供たちに与えてあげたい。これがDANNYの願いです。親のいる子供もいない子供も障がいのある子も色々な子供達の輝く笑顔そして幸せな時間をDANNYと浜松地域の経営者の皆様と共に作りたいと思います。

スマイル報告



- ① 原田道子さん
私の主催のセミナー2件行いました。
11月4日 大東建託主催の「貸貸経営失敗事例と対策」
11月11日 遠州鉄道アセットマネジメント課主催「貸貸経営セミナー」



- ② 出席部会
フットサルコート「ダニー」経営者 湊谷淳様本日は早朝より有難うございました。

